

鴨川市男女共同参画推進審議会 令和7年度 第1回会議 会議録

[期日] 令和7年8月7日(木)

[時間] 午後3時00分～3時45分

[場所] 市役所4階400会議室

[出席委員]

氏名	備考
上野 ひろ子	
高橋 由	
立野 慶子	
野村 京子	
山名 興子	

(アイウエオ順・敬称略)

[欠席委員]

なし

[市関係者]

氏名	所属・職	備考
山口 隆司	企画総務部総務課長補佐	
田村 香織	企画総務部総務課秘書係員	
青木 麻衣	企画総務部総務課広報広聴係員	

[傍聴者] 0人

[会議資料]

- 1 会議次第
- 2 出席者名簿
- 3 席次表
- 4 資料1 第3次鴨川市男女共同参画計画に係る各種施策の執行実績(主要24事業)
- 5 資料2 男女共同参画に係る啓発活動の実施結果
- 6 資料3 千葉県男女共同参画地域推進員 令和6年度活動報告書(抜粋)

1 開会（午後 3 時 00 分）

配付資料の確認後、鴨川市附属機関等の設置及び運営等に関する指針により、会議を公開とするほか、傍聴並びに報道機関による取材を許可し、会議録作成のために録音する旨を説明した。

2 会長、副会長の選任

会長に立野慶子委員を、副会長に上野ひろ子委員を選出した。

3 議事

鴨川市附属機関設置条例第 5 条第 2 項の規定に基づく会議の成立を司会から報告した後、同要綱第 5 条第 1 項の規定により、立野会長が議長となって議事を進行した。

また、議長から、上野ひろ子副会長及び高橋由委員を会議録署名委員として指名した。

議事（1） 第 3 次鴨川市男女共同参画計画に係る各種施策の執行実績について

事務局から、資料 1「第 3 次鴨川市男女共同参画計画に係る各種施策の執行実績（主要 24 事業）」に沿って説明し、審議会の確認を得た。

コメント及び質疑等は次のとおり。

（野村委員）

事業番号 52、53 番について、担当課が健康推進課から子ども支援課に移ったのは今年度ということよろしいのか。

（事務局）

令和 6 年 4 月に業務移管したため、昨年度である。

（上野委員）

事業番号 52 番のパパママ学級の開催について、参加者数が載っているがこれはほかの自治体などと比較することはしているのか。比較をして参加者数が少なければ何か対策を講じるということは考えているのか。

（事務局）

市内の出生数が年間 100 何人のため、その数字から考えれば参加者数は多いと思われる。

（高橋委員）

事業番号 50 番について、令和 4 年度、5 年度は「○」、令和 6 年度に「△」ということで評価が落ちたということの判断だが、理由をご教示いただきたい。

(事務局)

リーフレットの配付の枚数が少し減っているようで、周知も含めて少し足らなかった、というような判断がある。

令和4年度、5年度は、鴨川市商工会を通じて会員事業所1,012事業者へ配付し、周知を図ったが、令和6年度についてはできなかったということで、担当課評価「△」という判断だと思われる。

(高橋委員)

事業番号51番について、男性の食事のケアに関するところだと思うが、引き続きずっと評価が芳しくない状態。

参加人数を根拠にした判断なのかと思うが、その辺はどのような評価を受けているのか。

(事務局)

回数的には11回、月に1回ぐらい開催している。これぐらいの開催頻度であれば「○」でもいいと思うが、担当課の評価が厳しいのだと思われる。

(高橋委員)

性別上の作業分類という面でも、男性の「食事」に対する提供というのは重要だと思うため、引き続き努力していただきたいと思う。

(山名委員)

5ページの事業番号55番。学童保育を実際に利用している子どもの人数はどのくらいか。

(立野議長)

現在、学童自体、保護者が運営しているところが1団体、社会福祉法人(OURS)が運営しているところが1団体、社会福祉協議会が運営しているところが4団体である。

(事務局)

子どもの人数は把握していない。

(山名委員)

一つの団体に対しての補助金の上限額はあるか。

(事務局)

各団体それぞれの上限額は不明だが、6団体を合計しての総事業費は5,000万である。

議事（２） 男女共同参画に係る啓発活動の実施結果について

事務局から、資料２「男女共同参画に係る啓発活動の実施結果」に沿って説明し、審議会の確認を得た。

コメント及び質疑等は次のとおり。

（高橋委員）

男女共同参画啓発ポスターを地域推進委員活動で作成したということだが、実際誰が作っているのか。

（事務局）

次の議事３で示しているのが、千葉県男女共同参画地域推進員の南房総地区７市１町（袖ヶ浦市・木更津市・君津市・富津市・館山市・南房総市・鋸南町・鴨川市）の地域推進員が男女共同参画を推進する活動を展開する中で作成したものを展示させていただいた。

（高橋委員）

検討の余地があればだが、一つの形として、例えばポスターにしても、市内の中学生が作ってそれを展示するなどが考えられる。このパネル展示やポスター展示だけに留まらずに、今後につながっていくようにするためには、事前の事業を考えた方がより効果的な結果がもたらされるのではないかと思う。

（立野議長）

そのような考えも一つの手である。

（高橋委員）

市政協力員による周知で１,０１４部を市内全域回覧、ということだが、これは世帯数か。

（事務局）

組長や区長が回す回覧板の数である。

（山名委員）

男女共同参画週間について、房日新聞に掲載されたというが関心度はどうだったのか。

（事務局）

受付の職員に聞いたところ、結構見ている人がいたとのこと。

（山名委員）

これは単なる展示で、係員は誰もその場にはいないということか。

（事務局）

係員はその場にはいない。

(山名委員)

ただ展示をしっぱなしということではなくて、係員を置いて少し説明するようなものもあったら良かったと思う。

議事(3) 千葉県男女共同参画地域推進員 令和6年度活動報告について

事務局から、資料3「千葉県男女共同参画地域推進員 令和6年度活動報告について」に沿って説明し、審議会の確認を得た。

コメント及び質疑等は次のとおり。

(野村委員)

嶺南中学校の皆さんのアンケートで好評だった、ということだが、具体的に好評だった内容を教えていただきたい。

(事務局)

男子のアンケート結果では、「男女共同参画を知ることができて良かったと思います。またこのセミナーを聞いてみたいと思いました。」「男女で決めつけたりしてはいけない。自分も男だから女だからと言わないようにしようと思いました。」「男女共同参画というのは知らなかった。だけど、今日の寸劇などを見て共同参画を知れてよかったです。」「分かりやすい寸劇があって面白かった。」「男女共同参画について分かった。」など好評の意見があった。

(高橋委員)

開催場所は持ち回りでやっているのか。鴨川市はこの先、何年後かに開催場所となるのか。

(事務局)

南房総地区7市1町の中で持ち回りで行っているため、鴨川市もいずれは開催場所となる可能性がある。

(高橋委員)

寸劇は中学生が演じているのか。

(事務局)

中学生を対象に寸劇を開催している。演じているのは「劇団なのはな」という、南房総地区7市1町市町の地域推進員や市町職員である。

(山名委員)

教育の場で寸劇を開催するのは一番効果的だと思う。

(立野議長)

一番分かりやすい「見せる」啓発というところでは一番いいと思う。

(上野委員)

「男女共同参画」と言われたいぶ経つと思うが、子どもたちが初めて「男女共同参画」という言葉を耳にしたということ自体、まだ家庭内に浸透していないということ。

実際にそういうことを話す家庭はないと思うが、意識のさせ方がまだまだ足りないと思う。

(事務局)

昔よりは「男だから」とか「女だから」とかという言葉は少なくなっていると思う。

学校でも、「〇〇君」や「〇〇ちゃん」ではなく、「〇〇さん」と呼んでいる。

(上野委員)

なるほど。「男女共同参画」って言葉自身があまり浸透してないというのはありますが、家庭内においてはだいぶ変わってきているのかもしれないと思う。

(山名委員)

私は、東京から鴨川市に引っ越してきた。この地域推進委員制度というのは東京にはなかった。とても良い制度だと思う。

議事(4) その他

コメント及び質疑等は次のとおり。

(高橋委員)

男女共同参画を本格的に考えるのであるならば、中学生くらいの教育の充実ということを確認に据えてやっていくことが一番効果的かと思う。

中学生は授業があったり、やらなきゃいけないことが多々あったりして、さらに「男女共同参画についてやって欲しい」というのは難しいと思うが、それでもなお、やることは多分必要だろうと思う。学校教育課に改めて中学生の、特に男子に対して、社会のあり方や性別のあり方も含めて直接的な教育をやっていただきたいという感じがある。それこそが未来につながっていくことだと思う。具体的にどうするのかというと難しいところではあるが。

(立野議長)

小さいうちからそういった考え方を持たせるということは必要なことだと思う。

学校の中でも男女差別がなくなってきている、とは言いつつも、中学生ぐらいになると「男性・女性」ということで性の意識をしてくるため、そこで間違った考えをするお子さんもあるかもしれない。そういったところで啓発するというのはやっぱり必要なことだと思う。そこはぜひ推進員の方に頑張っていただき、鴨川市も寸劇の開催場所などになると思うので、よろしくお願ひしたい。

(山名委員)

最近では、政治でも女性がだいぶ躍進したということで、育児休業が男性も取れるようになってきた。

以前は本当に取る人が少なかったが、今は、男性が40%というのは本当に喜ばしいことで、いいことである。

現在、鴨川市の市議会議員で女性議員が何人いるのか教えていただきたい。

(高橋委員)

全部で18人。女性議員は4人。割合で言うと22%。

(山名委員)

みんなで女性議員を増やす運動みたいなのをしてもらいたいと思う。

東京都の文京区は東京都で一番議員の数が多かった。

それから、職員も管理職の女性は今どのくらいいるのか。

(事務局)

女性の所属長は3人である。

(山名委員)

もう少し増やしてもいいのではないかと思う。

(立野議長)

いただいたご意見は、今後活かしていければと思う。

6 閉会 (午後3時45分)

以上

鴨川市附属機関等の会議の公開に関する実施要領第7条第3項の規定により、男女共同
参画推進審議会 令和7年度 第1回会議における会議録の内容について確認します。

令和7年8月26日

上野 ひろ子

高橋 由
